

CET 12.5・リリースノート

2021年11月15日

ニュースと変更点

フローリングエクステンションのご紹介

- このバージョンのCETには、フローリング拡張機能が付属しています。

これは、CETのCommercial Interiorsエディションのユーザーが利用できるようになり、Configuraによってリリースされたほとんどのユーティリティ拡張機能と同様に、無料でダウンロードして使用できます。

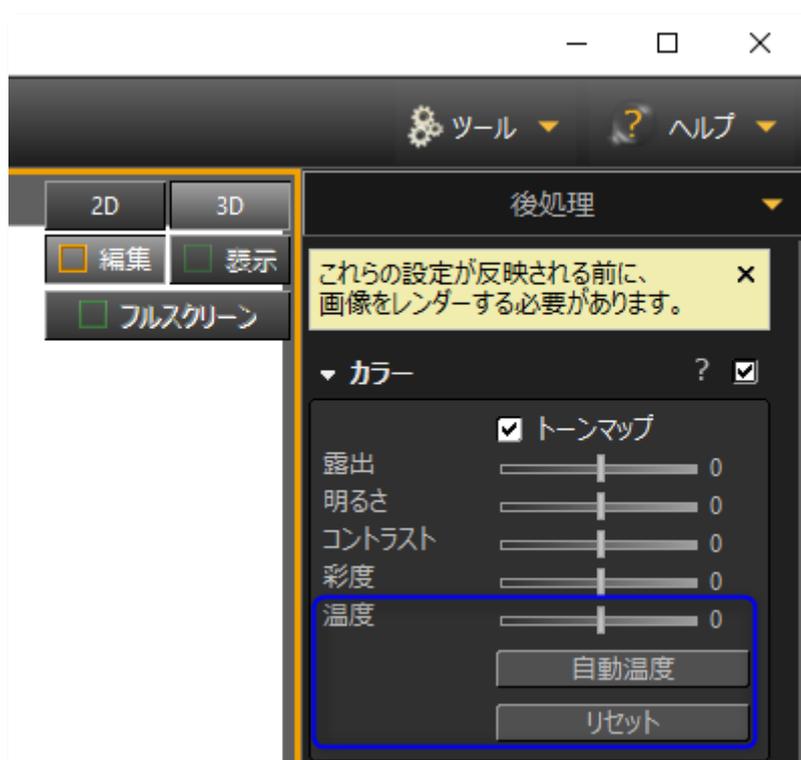
この拡張機能を使用すると、床面積を定義し、それらをタイルで埋めて、さまざまな異なるレイアウトを作成できます。

この最初のベータリリースでは、タイルの2つのカタログが含まれます。1つはメートル法の測定値に基づいており、もう1つはインペリアル測定値に基づいています。これらのタイルは、米国で使用されている最も一般的なタイルサイズの大部分をカバーしています。

今後のアップデートで、この拡張機能に機能が追加されることを楽しみにしています。

フォトラボ

- フォトラボでは、レンダリングされた複数の写真を同時に保存できるようになりました。
- レンダリングされた写真を保存するときに、CETは写真の名前に基づいてファイル名を提案するようになりました。
- サムネイルリストで写真を左右につかんでドラッグすることで、写真を簡単に並べ替えることもできるようになりました。
- 後処理用の温度スライダーは、より動的でリアルな結果を提供するようになりました。温度の自動調整オプションも追加されました。



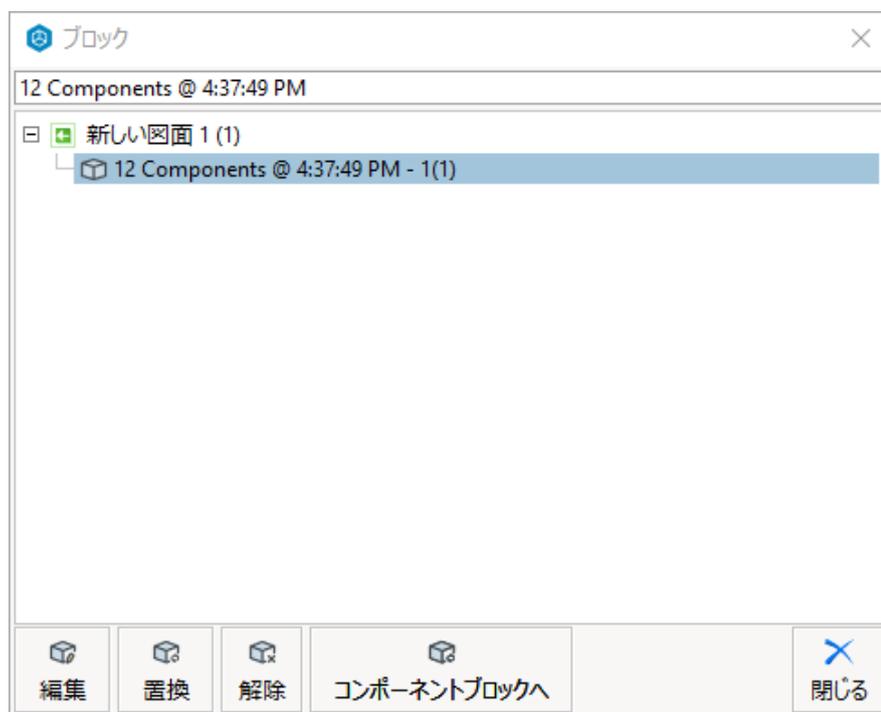
マテリアルエクスプローラー

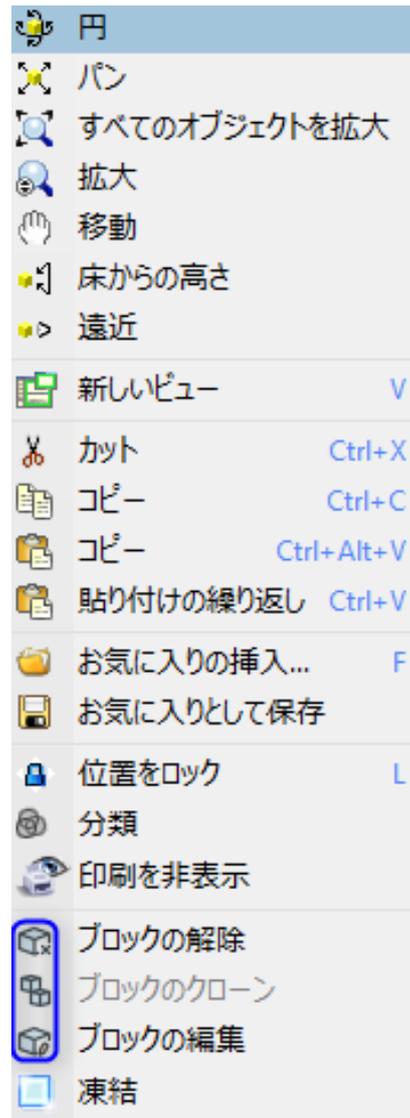
- マテリアルエクスプローラーのマテリアルは、より現実的なレンダリング結果を得るために、物理ベースのレンダリング（PBR）をサポートするように変換されています。
- バッチマテリアルコンバータは、マテリアルからPBRへの変換をサポートするようになり、このためのボタンもマテリアルラボに追加されました。

*** PBRレンダリング技術を最大限に活用するには、メーカーのマテリアルをPBR互換にする必要があることに注意してください。 ***

その他

- RevLink拡張機能がRevit2022をサポートするようになりました。
- ブロックのアイコンを更新して、UIの複数の場所で表示できる、よりモダンな外観とスタイルを採用しました。





- 凍結された建築用ドアは、正方形に縮小されるのではなく、スイングアークを表示するようになりました。
- 線ツールのキーボードショートカットを設定できるようになりました。
- CETのKitchen & Bathエディションのユーザーの方には、
「分類」、「フィルター」、作業モードのツールと機能が再度追加されたようになる上に、以下のUIコンポーネントも復活しました：

「2Dビューに合わせる」、「詳細なツールティップを有効にする」と「ビュークリップをペーパービューにコピーする」ツール。

バグ修正と機能改善

パフォーマンスの向上

- 12.0パッチ1で最初に実装された改善の継続として、SchemeManagerおよびApplyto allオプションのパフォーマンスがさらに改善されました。
- オブジェクトのコピーと貼り付けの速度が向上しました。
- 非常に大きな図面（10000以上のオブジェクト）の3Dパフォーマンスが向上しました。
- レベル編集時のパフォーマンスの向上。状況によっては、CETがフリーズしているように見えなくなるはずですが、これは、同じ状況での不必要に大きなメモリ使用量の問題にも対処します。

クラッシュ修正

- カーペットからポイントを継続的に削除するとクラッシュする可能性があるカーペットとカバーの問題を修正しました。

バグ修正

- DisplayLinkベースのUSBドックの警告メッセージが追加されました。これらは、CETをソフトウェアモードに強制的に切り替える可能性があるためです。警告メッセージには、このタイプの問題の可能な解決策を提供するサポートページへのリンクもあります。
- プロパティボックスがメインのプロパティボックスの位置に留まらずに、2Dビューの上部の中央に表示される可能性がある移動支援ツールの問題を修正しました。
- ドロップダウンから新しい材料が選択されるたびにコンテンツがちらつく可能性がある[スキーム]ダイアログの問題を修正しました。
- 非表示のレベルに材料を適用すると、建築ウィンドウが塗りつぶされる可能性がある[スキーム]ダイアログの問題を修正しました。

- CETの再起動後に選択された値が保持されない可能性があるSchemeManagerとPickツールの問題を修正しました。
- オブジェクトに互換性がない場合にツールが正しく表示されない可能性があるSchemeManagerとPickツールの問題を修正しました。
- マテリアルが正しくダウンロードされていても、マテリアルのサムネイルにダウンロードされていないアイコンが表示される可能性がある、SchemeManagerの問題を修正しました。
- 一部のオブジェクトのマテリアルで、そのオブジェクトを含むお気に入りをロードするときに、マテリアルの色がランダムに変化するように見える問題を修正しました。
- 多数のオブジェクトを反転するときに選択ボックスが非表示になる可能性がある反転ツールの問題を修正しました。
- カタログオブジェクトがスナップポイントの一部を失う原因となるミラーツールとブロックの問題を修正しました。
- ミラーリングによって作成されたオブジェクトが間違ったコラボレーションセクションで作成される可能性があるミラーツールの問題を修正しました。
- 印刷で表示されないように設定されていても、DWGにエクスポートした後に表示される可能性がある、ペーパービューに配置された寸法の問題を修正しました。
- 配置された表示モードの正しいカテゴリを自動的に取得しないディメンションの問題を修正しました。
- 新しい表示モードの作成中に、ダイアログに十分なスペースが残っている場合でも長い名前が途切れる原因となる[表示設定]ダイアログの問題を修正しました。
- まったく新しい図面に切り替えた場合でも、編集されたオブジェクトが選択されたかのように、一部のボタンが有効な状態のままになる可能性があるグラフィックの編集の問題を修正しました。
- ライセンスの欠落に関する警告の通知ダイアログの問題を修正しました。これにより、[ログアウト]ボタンが無効になります。
- マテリアルのダウンロードを妨げる可能性のあるMaterialPackExtensionの問題を修正しました。
- プロパティボックスの周囲に灰色のボックスが描画される可能性がある問題を修正しました。

- 読み取り専用コラボレーションセクションのオブジェクトのプロパティボックスで、それらのオブジェクトを引き続き編集できる可能性があり、データが失われる可能性がある問題を修正しました。
- ガラスが透明のままではなく灰色に変わる可能性があるRevLinkエクスポートの問題を修正しました。
- 用紙が編集モードであっても、テキストの位置が変更されない可能性がある用紙の問題を修正しました。
- 図面をロードするときに2Dビュークリップがターゲット領域を追跡できなくなる可能性があるペーパーの問題を修正しました。
- インポートされたDWGオブジェクトの2Dが、白黒のアドオンを含むビュークリップに表示されない可能性があるペーパーの問題を修正しました。
- 英語以外の言語設定で検索が機能しなくなる問題を修正しました。
- Windowsユーザーアカウント名に中国語または日本語の文字が含まれているとエクスポートが機能しなくなるSketchUpの問題を修正しました。
- SketchUpと、エクスポートフィルターが正しく機能しないカスタムグラフィックスまたはビューモードのオブジェクトの問題を修正しました。